

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
20 朝日町	対談項目1 「ICTの活用等による新たな学びの推進」の支援について	<p>第2期教育振興基本計画にもあるように、確かな学力を身に付けるため、ICTの活用等による新たな学びの推進を当町においても行っていきたくと考えている。</p> <p>ICT環境整備については、多額の財政負担が必要になる。生徒1人1台のタブレット活用ができる整備費用の援助について国への働きかけをお願いしたい。</p> <p>環境が整ったとしても、それらの機器が効果的な活用をされなければ意味がなく、教員がICTを活用した指導ができるように教員のICT活用指導力向上のための主要な施策を県にて講じていただきたい。例えば、県内の先進的な実践事例の紹介や当町のシステムで最大限の成果が得られるさまざまな研修等を開催していただくなどして、ICTの活用に対する理解やスキルが身に付くようお願いしたい。</p>	<p>学校1校あたりの教育用コンピューター関係の決算額を見てみると、平成26年度は三重県全体平均で2,008,000円、朝日町においては3,435,000円ということで、相当投資をしていただいで、まさに朝日町の教育の特色といえる所まで持っていただいでいるのではないかと思いますので、そうした取組を後押しすることが県としても大事なことだと思っています。ハードの部分については交付税措置がされているので、そこをしっかりとご活用いただくということであるが、国の方でも教育のIT化に向けて、26年度から29年度の4年間総額で6,712億円の地方財政措置を講ずるということであり、ICT活用教育アドバイザーの派遣や学びのイノベーション事業、フューチャースクール事業といった事業もあるので、我々も国に対してこうした予算をしっかりと確保していくように働きかけを朝日町と連携して共にやっていきたいと思う。</p> <p>県では、今、総合教育センターでICTを活用した指導力向上のための研修を通信講座も含めて行わせてもらっている。こうした研修をしっかりと行い、中身の充実も図って、ICTを活用できる教員の人材育成に県としてもしっかりと取り組んでいきたいし、県内外の先進的な事例を紹介できるような研究もしっかり進めていきたいと思う。</p>

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
朝日町	対談項目2 元気な「あさひっ子」への応援について	<p>保育・教育の現場は大変困難な状況下にある。特に近年障がい者の数が増えており、今年度は障がい児保育が必要な園児が31名、その他支援が必要な園児が20名在籍されている。園では、従来から県の委託事業により三滝総合病院から理学療法士と作業療法士、あさけ学園から社会福祉士が来ていただいているが、増加する障がい児に対し、体制が十分とは言えないのが現状である。このため今年度から地方創生予算にて小山田記念病院からも来ていただいているが、病院側の人員体制が不足している状況もあり、来園回数が不足しているというのも現実の状況である。当町単独ではこれらの資格者の確保は困難であり、ぜひ県にて人材を確保していただき、当町へ支援をお願いしたい。</p> <p>重度障がい児については課題がもっと大きく、従来は隣接する四日市市の施設に受け入れていただいていたが、受け入れ許容数が超えたということで、今年度は受け入れていただけなかった。これに代わる施設は現在はあすなろ学園のみであるため、単独の整備が困難な三重郡に同様の施設を早期に整備していただけるようお願いしたい。</p>	<p>障がいを持っている児童の療育の支援については、障害保健福祉圏域で自立支援協議会を設置していただいているが、その中で新しい事業所の設置をするのか、あるいは事業所の定員の増加をするのか、それとも保育所の訪問支援を行っていくのかということについて今ご議論いただいていると聞いている。まずは、圏域における自立支援協議会の皆さんの中での地域の実情に応じた、どういう方策が良いのか一緒に議論し、施設整備が必要ということになれば補助対象として採択できるように前向きに協議をしていきたいと思う。</p> <p>朝日町では平成22年度にあすなろ学園に職員を派遣していただき、みえ発達障がい支援システムアドバイザーとして養成していただき、総合支援窓口機能を整備していただいているということで大変ありがたく思っている。加えてあさひ園において、チェックリスト・イン・三重と個別の指導計画についても既に取り組んでいただいていると聞いており、大変感謝している。</p> <p>あすなろ学園と同様の物を創設するのは難しいが、児童発達支援センターや福祉施設、地域の医療機関とあすなろ学園が連携して、そのノウハウがしっかりと伝授されて地域で少しでも対応できるような取組の支援ということについてはしっかりと取り組んでいきたい。</p>
朝日町	対談項目3 北勢バイパス四日市・朝日交差点の改良について	<p>北勢バイパス四日市・朝日交差点は非常に変則であり、県道側から北勢バイパスに乗るためには大きく迂回をしなければならないだけでなく、まるで迷路のようである。また、現在の交差点では迂回する区間で道路が折れ曲がっているため、大型車が通行できない。当町ではここに隣接する場所を工場適地に指定し、企業誘致をしているが、誘致に大きな障害となっている。折れ曲がった道を大きく迂回しなければならない原因は北勢バイパスにおいて県道とつなぐための交差点が作られていないためである。ぜひこの交差点を安全で大型車の通行が可能になるような完全な交差点に改良していただくよう、国土交通省への働きかけをお願いしたい。</p>	<p>交差点の形状によって、大きく迂回をしなければならないとか、大型車両の通行が困難とか、沿線の企業活動に支障が出ているということをお聞きのところである。加えて、ここに工場適地があるが、北勢地域は企業誘致の適地が減ってきており、ここは交通的にも非常に良い場所であるので、我々も企業誘致を進めたい場所と感じている。現在、交差点の改良等について国土交通省で検討を進めていただいていると聞いているので、朝日町と連携をして、良い形で改良され、今後のストック効果を生む場になるよう、国土交通省に力強く働きかけていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いしたいと思う。</p>